

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	34-2																																							
PDCA	主要事業名	旧中埜家住宅整備事業	部課名	教育部博物館	担当 内線	榊原 23-7173																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 文化の振興と継承 全体事業期間： 令和 5年度 ~ 5年度 全体事業費等： 1,522 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.01.04.53																																													
	事業概要等	事業概要： 重要文化財旧中埜家住宅の後世への継承という大きな目的を達成するため、「保存」及びさらなる「活用」に必要な整備や修理を行う。																																												
		事業目的： 旧中埜家住宅の保存活用に必要な整備や修理を行い、後世への継承という大きな目的の達成に寄与する。																																												
		事業内容： 令和5年度は、棟札の複製制作と洋風家具の購入を行う。																																												
		問題点・課題等： 様々な制約により、多人数の受入や、長期間の公開が困難であり公開時期も限られるが、地域住民や子どもたちに対して、認知度や関心を高める必要がある。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	1,522 千円	旧中埜家住宅は貴重な国民的財産であり、半田の文化財を象徴する建物である。本事業はこの建物のさらなる保存活用を行ううえで必要となる整備や修理を行うもので、本市の文化財保護事業における主要事業であるため。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 435 千円	重要文化財である旧中埜家住宅の後世への保存継承が図られるとともに、市民の文化財保護意識の向上、地域文化の振興及びまちへの関心向上に寄与する。																																												
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">展示等整備の進捗率</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	展示等整備の進捗率	実績値	—	—	—	%	目標値	—	—	100.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																								
	展示等整備の進捗率	実績値	—	—	—	%																																								
		目標値	—	—	100.0	%																																								
		実績値																																												
		目標値																																												
その他	実績値																																													
	目標値																																													
県費 0 千円																																														
その他 1,087 千円																																														
D 実績値と得られた成果	決算額	得られた成果																																												
	1,517 千円	重要文化財の附指定となっている棟札及び設計図の画像データ化、棟札の複製制作を行ったことで、貴重な原資料をできる限り良い状態で後世へ継承することができるようになった。また、ふるさと納税を活用し、客室に洋風家具を整備したことで、当住宅の魅力向上が図られたとともに、来場者等の当住宅に対する理解と愛着が深まった。																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">展示等整備の進捗率</td> <td>実績値</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和5年度	単位	展示等整備の進捗率	実績値	100.0	%	目標値	100.0	%																												
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	展示等整備の進捗率	実績値	100.0	%																																										
		目標値	100.0	%																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	A 令和5年度は、重文附指定となっている棟札及び設計図の画像データ化、棟札の複製資料制作を行った。これにより、貴重な原資料の現状や記された情報を画像データとして後世へ残すとともに、原資料をできる限り良い状態で次の世代へ継承することができるようになった。さらに、複製資料による公開展示も可能となった。また、ふるさと納税による寄付金を活用し、客室に別荘当時を思わせる洋風家具の整備も行った。来場者の想像を助ける展示となることはもとより、フォトスポット・体感展示エリアとして多くの来場者から喜ばれている。今後は、建物の魅力や価値を様々な場所で、わかりやすく発信する必要があるため、映像資料制作等を進めていく予定である。																																												
A 今後の課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	拡充推進 重要文化財旧中埜家住宅の後世への継承という大きな目的を達成するため、今後も「重要文化財旧中埜家住宅における保存活用の基本方針（令和2年3月策定）」をもとに、建物の保存に必要な修理と整備、さらなる活用のために必要な整備を行っていく。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない																																							
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	⑧受益者負担適正化余地	—																																							
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない																																									

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用